

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・5月号

石川県学校生協黒字化3か年計画の最終年 6月12日は、第70回学校生協「通常総代会」

6月12日(火)に石川県学校生協の第70回通常総代会を開催します。今回は、黒字化3か年計画の最終年の開催となります。そして、ホップ、ステップと進み、今年度は黒字化実現のジャンプの年にしなければならない年なのです。実際、ここ数年、赤字予算を提案してきた総代会でしたが、今年度は、黒字予算を提案する計画です。現状としては、少し無理をしています。それでも努力をすれば達成できる範囲を検討した結果です。



昨年度(2017年度)の石川県学校生協の赤字額は、▲1,763万円でした。経営を任された責任者として大きな反省をし組合員の皆さんに謝ります。これ以上赤字を続けるわけにはいきません。それで、今年度は明治安田生命津幡営業所のなないろプラザの入館、屋上に太陽光発電設置による売電、全員利用運動の再検討、自主供給の増加等で、黒字化を目指します。

そこで、皆さんに大きく3つのご協力をお願いします。一つは、売上額の増加です。**全員利用運動に御協力**をお願いします。二つ目は、**指定店・協力店・提携店の利用**です。三つ目は、「学校生協でも、こんなものを扱ってください」と言った**要望・意見の提出**です。

2018年度4月 ▲263万円の赤字でした。それでも前年より、165万円改善!

石川県学校生協の2018年度4月末現在の経常剰余金は▲263万円です。計画は▲391万円ですから128万円回復しています。残念ながら赤字実績ですが、昨年同期よりは165万円の改善です。

今年度のスタートダッシュとしては、良かったなと総括しています。これからはこの計画値との戦いです。来年の3月末には、何としても黒字になっていなければなりません。

みなさんの石川県学校生協です。石川県学校生協をもっともっと利用してください。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

《学校生協と私》 富来小 橋本 美紀

今年度、初めて石川県学校生活協同組合の理事となりました。私は今まで、年3回の全員利用運動に参加して参りました。今回、理事会での報告事項をお聞きし、学校生協の魅力にふれることができました。

まず一つ目は、復興支援としての「ご当地セレクト」を開発されたということ。今まで捨てていたというめかぶを商品化し、被災地への温かいおもいがぎゅつと込められた一品になったそうです。

二つ目は、瓶の注ぎ口が液だれをおこすということ。ユーザーの声を聞き、ユーザーのための商品作りを日々しているのだそうです。

三つ目は、全員利用運動の収益の一部を「ユニセフ」に寄付したことです。

これらの素敵な取り組みを周知し、たくさん組合員に2品でも3品でも購入していただくことで、組合員による組合員のための世界とつながる組織として、ますます発展が期待できます。提携するお店も増えました。夏用のスーツをアオキと青山どちらで購入しようかと考えこんでしまったらしいです。今後とも、みなさんとともに学校生協を盛り上げたいと思います。

編集後記 明治安田津幡営業所入所

5月21日(月)から明治安田生命保険相互会社津幡営業所が、なないろプラザの2階に入館されました。男性1名、女性34名の合計35名の大所帯です。昨年6月頃から入館についての話し合いを持ち、両者のメリットになるということでトントンと話が進みました。

しかし、現実として改築「会議室の壁」の撤去、フロアの間仕切り、女子トイレの設置、書庫の移設や駐車場の確保(近くの田んぼの購入、整地等)などに結構時間と経費がかかりました。しかし、黒字化をめざすための政策として決断をくだしました。

理事会を他所で行わなければならない等、組合員の皆さんには少しご不便になります。何卒、ご理解頂き、ご協力をお願いいたします。(ほその)